



共同キャプテン  
**西村 光太さん**  
Kota Nishimura

共同キャプテン  
**安田 直樹さん**  
Naoki Yasuda

共同キャプテンの西村光太選手と安田直樹選手が、リーグワン参入を果たした昨シーズンを振り返りました。

## チームの成長とこれから

西村選手は「去年はチーム全体が確実にレベルアップしたと感じました。それは1年間をかけてしっかりと準備をした結果だと思います」と語り、チーム全体の1年間の努力の成果を強調しました。

安田選手は「まだまだ改善できる点がたくさんあります。チーム全体の結束力やフィジカル面、プレーの理解度など、リーグワンで戦うためにはさらなる向上が必要です」と課題を挙げました。

チーム発足初年度では関東トップの東京ガスに14-90で大敗しましたが、昨シーズンでは関東1位のヤクルトレビンズに対して1点差に迫るまでに至りました。この経験から、両キャプテンともさらなるチームの活躍には何よりも準備が大切であることを痛感しています。

## 地域とともに歩む

ルリー口福岡の選手たちは地域のイベントに積極的に参加しています。また、チームの発足当初から、浮羽究真館高校に向き、ラグビーの指導なども行ってきました。プレイヤーとしてだけでなく、チームのスタッフとしても活動し、多くのイベントやラグビー指導に足を運んでいる西村選手は「ホームタウンでの活動は今シーズンも特に重要だと考えています。去年のイベント活動を通じてチームに興味を持ち、試合会場に足を運んでくれたサポーターが増えたことを実感しています」と地域活動がチームの基盤となっていることを話してくれました。

安田選手は地域の田主丸中央病院の関連施設で介護職として勤めています。「昨年、転職したばかりですが、職場の皆さんがルリー口福岡の活動を理解してくれていることに感謝しています。また、利用者の方々からも『頑張ってるね！』と声をかけていただけることが嬉しいですね」と笑顔を見せてくれました。

地域に根ざしながら成長していくルリー口福岡スタイル。両キャプテンがその姿を示すことで、他の選手たちも地域とともに歩み、成長していくのだろうと感じました。



## 新たな挑戦のはじまり

チームのミッションは「感動笑夢」。福岡県うきは市から始まったルリー口福岡は、日本中や世界中に「感動笑夢」を届けることが目標であり、リーグワン参戦がそのゴールではありません。西村キャプテンの「ここからが本当の挑戦」という言葉から、2024年12月から始まるリーグワン参入後の初シーズンへの意気込みを感じます。新たな挑戦に向けて、ルリー口福岡はチーム一丸となり、さらなる飛躍を目指しています。